

日本分析化学会九州支部

支部ニュース

第 20 号 2009.6

会員拡充キャン
ペーン実施中!!
(p.7)

第 46 回化学関連支部合同九州大会
7月 11 日
午前9時! ~
北九州国際会議場にて.
多くのご参加をお待ちしています!



故郷はどこでしょう?



第 27 回九州分析化学若手の会
夏季セミナー

7月 30, 31 日 [宮崎観光ホテル](#)にて.
多くのご参加をお待ちしています!
問い合わせ下さい.



九州支部ホームページ

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2009 年度 日本分析化学会九州支部事務局

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門

食品バイオ工学講座 内

支部活動報告

2009年度 第一回常任幹事会

平成21年6月27日九州大学農学部四号館(福岡市)において、日本分析化学会九州支部第一回常任幹事会が開催されました。議事、報告事項については準備ができ次第、支部ホームページに掲載いたしますのでご覧下さい。

2009年度九州分析化学会賞

昨年度に続き第3回の表彰が行われます。選考委員会による審査の結果、山口先生が今年度の受賞者に決定致しました(敬称略)。おめでとうございます。山口先生には、当支部の発展のために、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山口 敏男

(福岡大学 理学部 教授)

「X線および中性子線を用いる溶液状態分析法の開発とその応用に関する研究」

2009年度九州分析化学奨励賞

選考委員会による審査の結果、今年度は以下の3名の方が奨励賞に決定致しました(推薦状受理順、敬称略)。おめでとうございます。本奨励賞につきましては、次年度以降も会員の皆様方からの積極的な応募をお願い致します。

田中真由美

矢部川電気工業株式会社

九州大学大学院工学部化学システム工学専攻
博士後期課程3年

「表面プラズモン共鳴センサによる迅速・高感度フロー免疫アッセイ法の開発」

Sameh Abdel-Raouf Ahmed

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
博士後期課程3年

「Selective determination of quinones in biological and environmental samples by HPLC with photo-induced chemiluminescence detection」

山崎信哉

九州大学理学部化学専攻
博士後期課程2年

「バクテリアルシフエラーゼ発光系に対する疎水性分子の作用機構の解明」

第22回九州分析化学若手の会春の講演会

主催 九州分析化学若手の会
日本分析化学会九州支部
世話人 九大院薬 浜瀬健司

平成21年5月23日(土)13時30分より、九州大学馬出キャンパス薬学部第一講堂にて標記講演会が開催されました。下田支部長の挨拶に引き続き、九州支部若手研究者講演として岸川先生、宗先生に、教育講演として梅林先生に、特別講演として船津先生に興味深い御講演をして頂きました。講演会には111名が参加し、熱い討論が行われました。

講演終了後、次期世話人(福岡女子大 石川先生)から予告があり、引き続き情報交換会が医学部百年講堂カフェテリアにて開催されました。情報交換会の参加者は33名であり、各先生方の最先端研究成果やノウハウなど、有意義な情報交換が行われました。

丁度、豚インフルエンザに伴う集会自粛ムードが全国的に漂う中で快く御協力下さいました講師・座長の先生方、また御参加下さいました皆様に、深く感謝申し上げます。講演会・情報交換会の様子は下記ホームページにて公開しておりますのでどうぞ御覧下さい。
([http://210.233.60.66/~bunseki/photo/2009](http://210.233.60.66/~bunseki/photo/2009/wakateharu09.html)

[/wakateharu09.html](http://210.233.60.66/~bunseki/photo/2009/wakateharu09.html))

特別講演 (座長:九大工 内村智博先生)

「生体分子機能の1分子蛍光イメージング」

(東大薬) 船津高志 先生

教育講演 (座長:福大理 吉田亨次先生)

「基礎科学としての分析化学って何だろう？」

(九大理) 梅林泰宏 先生

若手講演1 (座長:福大薬 吉田秀幸先生)

「蛍光・化学発光を利用するキノンの高感度かつ

選択的な定量法の開発とその応用」

(長大医歯薬) 岸川直哉 先生

若手講演2 (座長:九大工 新留康郎先生)

「細胞内を探る分子ツール」

(九大工) 宗 伸明 先生

第16回クロマトグラフィーシンポジウム

主催:クロマトグラフィー科学会
 実行委員長:中島憲一郎
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・薬学部)

平成21年5月28日(木)、29日(金)、30日(土)
 長崎大学文教キャンパス中部講堂(長崎市文教町1-14)
 参加人数:120名、講演件数:60件
 特別講演1件、依頼講演3件、一般口頭発表21件、
 ポスター発表26件、ワークショップ講演3件、
 技術セミナー2件

2009年度日本分析化学会九州支部外国人講演会

平成21年6月15日(月)15時00分~16時30分
 九州大学伊都キャンパス物質系5番講義室(W4-315室)

Single photon ionization mass spectrometry for chemical analysis:Concepts and applications

Prof. Dr. Ralf Zimmermann
 Helmholtz Zentrum München, German Research Center of Environmental, Health, Institute of Ecological Chemistry

参加者:14名
 概要:1光子イオン化質量分析法の原理および利点、また本法を用いた応用例として、工場の排ガスやたばこ、薬物、爆発物等の検出結果について御講演を頂き、参加者との活発な質疑、討論を行うことができた。



本会行事案内

第46回化学関連支部合同九州大会

共催 日本農芸化学会西日本支部・高分子学会九州支部・日本分析化学会九州支部・電気化学会九州支部・有機合成化学協会九州山口支部・繊維学会西部支部・化学工学会九州支部・日本化学会九州支部

会期 7月11日(土)9時~16時40分
 会場 北九州国際会議場
 (北九州市小倉北区浅野3-9-30)

(分析化学セッションのみ抜粋)
 依頼講演4(11:40-12:10)
 日本分析化学会九州支部 推薦
 座長:梅林 泰宏(九州大学院理)
 「水銀の環境挙動解明における分析化学の役割」
 (鹿児島大学理) 富安 卓滋

ポスターセッション(9:00-10:00): 56件

大会ホームページ:
<http://post.cstf.kyushu-u.ac.jp/~godo46/>

参加登録:参加費は無料。発表登録料として、ポスター発表1件につき、2,500円(予稿集1冊を含む)を当日受付で徴収。発表者以外の参加者には、予稿集を1,500円で当日販売

懇親会: 17時30分より北九州国際会議場イベントホールにて。会費:一般4,000円、学生1,500円(当日徴収)

問合せ先:第45回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局 代表世話人 石原 達己(九大院工)
 E-mail: godo46@cstf.kyushu-u.ac.jp
 Tel&Fax: 092-642-3574

第27回九州分析化学若手の会夏季セミナー

主催 九州分析化学若手の会
 日本分析化学会九州支部

期日 7月30日(木)・31日(金)(一泊二日)
 会場 宮崎観光ホテル
 〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1
 Tel: 0985-27-1212 Fax: 0985-25-8748
 URL: <http://www.miyakan-h.com/>

内容

特別企画:

「日本分析化学会北海道・九州支部若手の交流」
 招待講演1 福嶋 正巳(北大院工)
 「有機汚染物質の無害化促進に
 有用な腐植物質の機能解明」

招待講演2 石田 晃彦(北大院工)
 「マイクロチップ型液体クロマトグラフィーの開発
 -ポンプから検出器までの小型化-」

受賞講演:

平成21年度九州分析化学奨励賞受賞講演

模範ポスター講演:

化学関連支部合同九州大会ポスター賞受賞者
一般ポスター講演

申込方法: 所属, 身分(一般, 学生会員, 学生非会員の別), 参加者情報(氏名, ふりがな, 性別, 学年(職位), 所属(研究室名))および代表連絡先(住所, 電話, FAX, E-mail), ポスター講演の有無を研究室ごとにとりまとめ, E-mailにてお申し込みください。できる限り研究室単位でのお申し込みをお願いいたします。

申込締切: 6月29日(月)。

定員180名になりしだい締め切ります。

要旨締切: 7月6日(月)。

作成・送付方法はHPをご覧ください。

http://www.chem.miyazaki-u.ac.jp/~babalab

/bunseki_wakate/top.html

申込・問合せ先: 〒889-2192宮崎市学園木花台西1-1

宮崎大学工学部物質環境化学科

代表世話人: 大島 達也

E-mail: oshimat@cc.miyazaki-u.ac.jp

Tel: 0985-58-7321 Fax: 0985-58-7323



第50回分析化学講習会

主催 (社)日本分析化学会九州支部

共催 日本化学会九州支部, 電気化学会九州支部, 日本薬学会九州支部, 日本食品科学工学会西日本支部, 日本農芸化学会西日本支部, 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部, 日本臨床化学会九州支部, 日本水環境学会九州支部, 福岡県環境計量証明事業会

期日 8月5日(水)~7日(金)

会場 第一薬科大学

(〒815-8511 福岡市南区玉川22-1)

講義 (8月5日, 9:30~17:00, S22 教室)

1. ガスクロマトグラフィー (九大院農) 下田満哉

2. 高速液体クロマトグラフィー (九大院薬) 財津 潔
3. 原子・分子スペクトル分析法 (九大院理) 吉村和久

実習 (8月6日・7日, 9:30~16:30, 物理系実習室(3F), 化学系実習室(3F), 実務実習室(4F))

(各日1コース, 2日間で計2コースを選択)

1. ガスクロマトグラフィー(GC)

(九大院農) 下田満哉・井倉則之

基礎コース【化学系実習室(3F)】

- A. 化合物の同定(保持指標, マススペクトル)
- B. 定量分析(内標準法)
- C. 試料導入法(スプリット・スプリットレス法)

応用コース【化学系実習室(3F)】

- D. 香気成分の分離濃縮(実試料)
- E. 香気成分の固相マイクロ抽出(実試料)
- F. GC-MSによる香気成分の分析(実習D, Eの香気濃縮物)
- G. 残留農薬分析の概要説明及びデータ解析を中心に

2. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)

(九大院薬) 財津 潔・浜瀬健司

基礎コース【物理系実習室(3F)】

- A. HPLCの基礎(逆相HPLC・UV検出; 分離の最適化)
- B. 逆相HPLC(電気化学検出, 円二色性検出, 蛍光検出)
- C. ゲル浸透・配位子交換クロマトグラフィー(示差屈折検出)
- D. 陰イオン交換クロマトグラフィー(電気伝導度検出)

応用コース【物理系実習室(3F)】

- E. 高感度化とハイスループット分析法
- F. 三次元検出, 固相抽出による試料の前処理

3. 原子・分子スペクトル分析法(AAS)

(九大院理) 吉村和久・栗崎弘輔

基礎コース【実務実習室(4F)】

- A. 微量金属成分分析のための基本操作法
- B. フレーム原子吸光法(化学干渉とその除去)
- C. グラファイト炉原子吸光法(分子吸収とその除去, 化学修飾剤)
- D. 吸光光度法(鉄の酸化数別定量)

使用機器 日本分光, 日立ハイテクノロジー, ジェイ・サイエンスラボ, 東ソー, 島津製作所, アジレント・テクノロジー, 日本ダイオネクス, 資生堂, 日本ウォーターズ, オルガノ, 日本ミリポアの提供による最新機器

参加費 主催・共催会員 32,000 円, 会員外 42,000 円, 学生 15,000 円

申込方法

申込の件名を“第50回分析化学講習会申込”として, 以下の項目(①~⑥)を明記し, E-mailまたはFAXでお申し込み下さい。当方から受付番号をお知らせしますので, 参加費を下記口座にお振込み下さい。その際, 振込み人氏名の前に受付番号を必ず記入して下さい。

①受講者氏名, ②所属, ③連絡先(郵便番号, 住所, TEL, FAX, E-mail)、④第1, 第2希望の実習コースの組み合わせ(GC 基礎, GC 応用, HPLC 基礎, HPLC 応用, AAS 基礎の5コースから2コースを選択; 応用コースは経験者に限定), ⑤応用コースを選択される方は該当する分析法の実務経験年数, ⑥所属学会(協会を含む)

注意 a. やむを得ない事情により, プログラムの一部を変更することがあります。b. 各実習コースは定員制ですので, お早めにお申し込み下さい。また, 実習コースがご希望に添えない場合もありますので, あらかじめご了承ください。c. 参加費の入金の確認をもって申し込みを受理いたします。d. 会員には, 勤務先が維持会員, 特別会員, 公益会員に所属する方を含みます。e. いったん納入された参加費の払い戻しは致しません。

申込締切 7月15日(水)

口座 第50回分析化学講習会

福岡銀行 箱崎支店 普通 口座番号: 2266771

申込先 第50回分析化学講習会事務局

E-mail: bunkou50@agr.kyushu-u.ac.jp

FAX: 092-642-3018

問合先 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門食品製造工学研究室

下田満哉 (TEL: 092-642-3015)

井倉則之 (TEL: 092-642-3016)

野間誠司 (TEL: 092-642-3018)

東京コンファレンス 2009

一学会と工業会が協調する新しいオフィシャルイベント

東京コンファレンス 2009 は, さらなる分析機器の開発と応用展開に向けて, 日頃分析関連業務の最前線で創意工夫を重ねている方々が, 分析機器に関する研究・開発・工夫・応用・前処理などの活きた話題を紹介し, 考え, 議論しながら, 参加者皆さんの思いが具現化できるような機会を目指しています。

今回も, 興味深いテーマのシンポジウム, 活発な活動を進める講習会などを予定しています。昨年好評でした「分析イロハのイ」や「プロが教える機器分析シリーズ」などの入門講座も続行します。

なお, International Session「New Frontier of Analytical Technology」、講演会「分析化学とケモメトリックス、ソフトウェア」、フラッシュプレゼンテーション&ポスターセッション「分析化学ショーケース」では, 一般講演および一般ポスターを募集しますので, 是非、応募して下さいようお願いいたします。昨年同様, 優れた発表には優秀講演賞などを授与致します。

期日: 9月2日(水)~9月4日(金)

会場: 幕張メッセ国際会議場[交通: JR 京葉線で「海浜

幕張駅」下車、徒歩 8 分。なお, 同期間「2008 分析展」が幕張メッセ内で同時開催されます]

~第1日 9月2日(水)~

A 会場(302号室) 午前 開会式

A 会場 午前 Plenary シンポジウム「将来のナノバイオ分析技術」

A 会場 午後 先端分析技術賞授賞式および受賞講演

A 会場 午後 分析技術者講座「食品分析の信頼性向上を求めて」

B 会場(301号室) 午前 分析入門者用講座「分析イロハのイー測定値から分析値へー」

B 会場 午後 講習会「プロが教える“ガスクロ自由自在”」

~第2日 9月3日(木)~

A 会場 午前 International Session「New Frontier of Analytical Technology」

A 会場 午前 講演会「分析化学とケモメトリックス、ソフトウェア」

B 会場 午前 講習会「プロが教える“質量分析”」

B 会場 午後 分析入門者用講座「分析イロハのイー測定値から分析値へー」

B 会場 午後 分析初級者用講座「分析イロハのロー試料の分解、pH条件の設定ー」

~第3日 9月4日(金)~

A 会場 午前 講習会「プロが教える“液クロのコツ”」

A 会場 午後 分析技術者講座「NMRによる定量分析の可能性と実用性について」

C 会場 午前 フラッシュプレゼンテーション&ポスターセッション「分析化学ショーケース」第一部

C 会場 午後 フラッシュプレゼンテーション&ポスターセッション「分析化学ショーケース」第二部

A 会場 午後 閉会式

参加登録方法: 東京コンファレンス HP をご覧下さい。

<http://www.jsac.or.jp/~tokyoconf/>

〒141-0031 東京品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304号 東京コンファレンス 2009 事務局

電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572

E-mail: tokyoconf@jsac.or.jp



日本分析化学会の表彰

2009年度学会功労賞

田端 正明 先生 (佐賀大学)

2009年度奨励賞

宗 伸明 先生 (九州大学)

2009年度有功賞

(株)九州テクノロジーサービス部
伊東 佐 様
(株)同仁化学研究所開発部
堀口 大吉 様

おめでとうございます。第58年会で表彰されます。

2. ミキサー参加費 予約:3,000円〔当日:4,000円〕
3. 懇親会参加費 予約:8,000円〔当日:10,000円〕

「ぶんせき」誌7月号挟み込みの参加予約申込書(年会専用郵便振替用紙)に必要な事項を漏れなく記入し、参加登録料などの費用を参加予約申込締切日までに払い込みください。

参加予約申込締切日 8月26日(水)【当日消印有効】
参加予約連絡先(問合先) 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

日本分析化学会第58年会係
(電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572)

実行委員会連絡先 〒814-0180 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学大学院地球環境科学研究院内 第58年会実行委員会委員長 中村 博

(Tel:011-706-2259・4527, Fax:011-706-4863)

実行委員会Webサイト

<http://bun58.ees.hokudai.ac.jp/index.html>

日本分析化学会第58年会

期日: 9月24日(木)~26日(土)

会場: 北海道大学 高等教育機能開発総合センター
(札幌市北区北17条西8丁目)

スケジュール:

- 9月24日(木): 一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、英語講演(口頭)、若手講演(ポスター)、テクノロジー講演(口頭)、受賞講演、研究懇談会講演、特別シンポジウム、ミキサー
- 9月25日(金): 一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、テクノロジー講演(口頭)、学会賞等授賞式、受賞講演、特別シンポジウム、懇親会
- 9月26日(土): 一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、テクノロジー講演(口頭)、受賞講演、特別公開シンポジウム

ミキサー 9月24日(木)18時~20時(予定)

会場: 北海道大学キャンパス内 工学部食堂〔札幌市北区北14条西8丁目〕

懇親会 9月25日(金)18時~20時30分(予定)

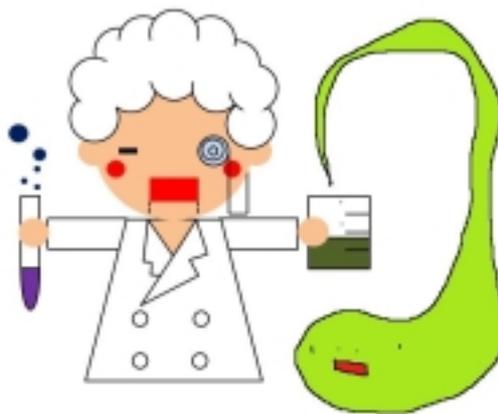
会場: サッポロファクトリーホール〔札幌市中央区北2条東3丁目、電話:011-207-5233(代)〕

1. 参加登録料(講演要旨集1部代を含む) 予約: 会員 6,000円, 学生会員 3,000円, 会員外 10,000円, 会員外学生 5,000円〔当日: 会員 8,000円, 学生会員 4,000円, 会員外 10,000円, 会員外学生 5,000円〕

* 会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員及び公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。

講演プログラムは、「ぶんせき」誌8月号“お知らせ”欄に掲載します。また、7月中旬に講演プログラム速報版を学会ホームページに掲載します。

参加申込方法、宿泊・航空券予約申込方法などの詳細については「ぶんせき」7月号の“お知らせ”欄又は <http://www.jsac.or.jp/nenkai/nenkai57/nenkai57sanka-yoyaku.html> をご参照下さい。



機器分析ワークショップ

主催：日本分析化学会九州支部

期日：平成20年11月

会場：九州大学箱崎キャンパス

「創造パビリオン2F会議室」及び
「2Fミーティングルーム」

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学箱崎キャンパス

内容：幹事会社からの最新機器分析法紹介

詳細が決まり次第、支部ホームページにてご案内します。お楽しみに。

支部招待講演会・見学会

支部招待講演会・見学会を11月上旬に開催する予定で横下副支部長が中心となり、準備を進めています。今年の見学会では、(株)キューサイ分析研究所(福岡県宗像市王丸411-1)の予定です。これにつきましては、詳細が決まり次第、支部ホームページにてご案内します。お楽しみに。

事務局より

日本分析化学会九州支部ホームページのご案内

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

九州支部ホームページには以下のような内容を掲載しておりますが、新しい情報を順次追加していきます。会員の皆様に役立つ情報をタイムリーにご提供致します。是非、定期的にチェックして下さい。

1. 支部長挨拶
2. 九州分析化学会賞・奨励賞受賞者
3. 九州支部若手の会夏季セミナーご案内
4. 分析化学講習会ご案内



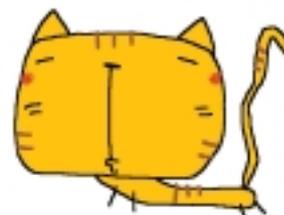
会員の声をお送り下さい

分析技術、研究、教育、ご提案など何でも結構です。分析に関する質問などでは、ホームページに掲載することにより支部会員の方々からいろいろなお助言を頂いたり、新たなディスカッションに発展するなど、有意義な情報交換の機会になることが期待できます。皆様のお声をお届け下さい。(井倉庶務幹事まで)

E-mail: igura@agr.kyushu-u.ac.jp

入会を歓迎します

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対して、要望があれば、会長より支部を通じて機関誌の無償配布が行われるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。九州支部では、下田支部長、井上副支部長が今年度の会員拡充担当となりました。どうぞよろしく御願い致します。



編集後記

富安先生の後を受け、支部ニュースの編集を任せられ、改めて大変さを実感しております。九州支部ニュースの刊行も、11年目に突入り、第20号を迎えることになり、感無量です。この10年で変わったこと、伝統を守っている事、各会員様でいろいろあると思います。また、インターネット社会が大きく普及した現代でも、このような紙媒体が要・不要の議論も必要かと思えます。この議論が分析化学会の発展に必ず繋がることと信じています。是非、皆様のご意見をお待ちしています。

次号は2月頃の発行を予定していますが、次こそ新企画を計画します。差し当たり原稿に載せるイラストや写真を募集したいと思います。是非、“これを”と一押しの一品を送って下さい。また、研究室・研究所紹介も行いますので、自薦他薦をお願いします。

支部ニュースを通じて九州内の研究室の交流が深まるような、そんな皆様に親しまれる支部ニュースの発行を目指します。ご意見、ご感想、ご要望などもお待ちしております。

支部ニュース発行責任者 井上 高教(副支部長)

表紙の解答は、

福岡県：ウグイス、佐賀県：カササギ、長崎県：おしどり、
熊本県：ヒバリ、大分県：メジロ、宮崎県：こしじろやまどり
鹿児島県：ルリカケス、沖縄県：ノグチゲラ

企業紹介コーナー（本年度副支部長）（11月に見学会を予定しています。）

○株式会社キューサイ分析研究所のご紹介

【ご挨拶】

株式会社キューサイ分析研究所は、青汁で知られるキューサイ株式会社の持つ残留農薬分析技術を基に2003年1月に設立された会社です。

2004年12月には食品会社出資の民間企業としては初となります、厚生労働省登録検査機関に登録されました。

また、2007年11月には「ISO/IEC 17025」の試験所認定を取得いたしました。

これからも食の安心・安全を支えるために、分析技術を磨き、分析精度 1を目指してまいります。



【主な分析内容】

残留農薬分析

一斉分析662農薬

輸入食品モニタリング469農薬

輸入野菜モニタリング414農薬

各種個別分析 等

重金属分析

栄養分析

食品添加物分析

残留動物用医薬品等分析

動物用医薬品等120種一斉分析 等

各種クリーム分析

機能性評価分析

細菌検査

ポリフェノール類41項目一斉分析 等

所在地 本社：〒810-8606 福岡市中央区草香江1丁目7番16号
 TEL：0940-37-8070 FAX：0940-37-3991
 中央研究所：〒811-3422 福岡県宗像市王丸411番1号
 東京営業所：〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目13番7号 新保ビル616
 ：上海市徐匯区宜山路899号3号楼4階
 SGS-CSTC通標標準技術服務有限公司内 TEL：+86-21-61152239

QSAI 株式会社キューサイ分析研究所

<http://www.nouyaku-bunseki.net/>

2008年度日本分析化学会九州支部事務局

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門
 食品バイオ工学講座 食品製造工学研究分野内

支部長	下田 満哉(九州大学大学院農学研究院) E-mail: mshimoda@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3015 FAX: 092-642-3015
副支部長	井上 高教(大分大学工学部) E-mail: tinoue@cc.oita-u.ac.jp	TEL: 097-554-7898 FAX: 097-554-7898
副支部長	横下正彦((株)キューサイ分析研究所) E-mail: yokoshita@kyusai.co.jp	TEL: 0940-37-8070
庶務幹事	井倉 則之(九州大学大学院農学研究院) E-mail: igura@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3016 FAX: 092-642-3016
会計幹事	野間 誠司(九州大学大学院農学研究院) E-mail: nomas@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3018 FAX: 092-642-3018